

各 中 学 校 の 取 り 組 み

勝山北部中学校



5月19日のクリーンアップ九頭竜川2013に1年生と3年生95人が親子で参加しました。2011年から3年連続の参加です。拾ったごみは種類ごとに分類・観察しました。缶のほとんどがコーヒー、ビール類で、ほぼ大人が捨てていることが分かります。

勝山中部中学校



5月24日に浄土寺川の清掃活動とあわせて、川の汚れを調べるため、環境指標生物の採集調査を同時に行いました。ごみを細かく分別し、出処について考察しました。

ビールやコーヒーの空き缶が目立ちました。中部中では「オヤジ系ごみ」と分類しています。

勝山南部中学校



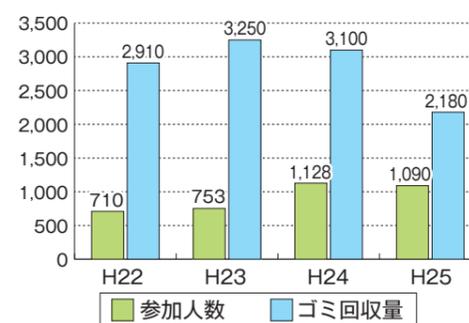
6月6日、今年で11年目を迎えた淀川清掃を、今年は2年生92名が行いました。マルチや農薬・肥料の袋といった農業系のごみが目立ちましたが、近年、回収しているごみの量は減っています。



6月は環境月間です

川が教えてくれるもの

今年もクリーンアップ九頭竜川2013や、各中学校や各地区での河川清掃が行われました。その現状から見えてくるものがあります。



◆九頭竜川の清掃に多くの市民が参加
5月19日(日)に、公益社団法人勝山青年会議所主催の「クリーンアップ九頭竜川2013」が開催され、今年は団体・個人あわせて1090人が参加しました。
この事業は平成17年に始まり、今年で9回目となります。最初は131人だった参加者は年々増加し、ごみ回収量も増加していましたが、最近の2年は回収量が減少傾向にあります(グラフ参照)。
単純に比較はできませんが、九頭竜川のごみが少しずつでも減っているのであれば、大変喜ばしいことです。



クリーンアップ九頭竜川2013の様子

2年前、初めてクリーンアップ九頭竜川に参加した勝山北部中学校の生徒が、事業の反省会の中で、大人に対する川にごみを捨てさせないための提言をしました。こうした地道な活動が関心を高め、その結果ごみの量が減ってきているのかもしれない。